

Arcserve® Replication/High Availability r16.5 新機能、拡張機能のご紹介

Arcserve Replication/High Availability (以下、Arcserve RHA) r16.5では、仮想サーバのデータ保護の強化と Microsoft Windows Server 2012への対応を目玉にしています。Arcserve RHA はネットワークへの追加投資を必要とせず、低コストでサーバの災害対策を実現できるソリューションですが、r16.5のリリースでより多くの種類のサーバ・より多くのお客様のデータを守ることができるようになります。Arcserve RHA r16.5 の主な新機能は以下をご覧ください。

Arcserve® Replication/ High Availability r16.5

Arcserve RHA r16.5 では、以下の機能追加・機能拡張がされました。

- **Windows Server 2012 への対応** : 従来の Windows Server の機能はもちろん、ReFS (Resilient File System)、記憶域スペース、データの重複除去、4KB論理セクター、Hyper-V 3.0など、Windows Server 2012の機能を有効にした環境も保護する事ができます。
- **VMware 仮想マシンの遠隔バックアップ** : VMware 環境の専用バックアップソフトである、Arcserve Central Host-based VM Backupとの統合により、仮想マシンのバックアップデータを簡単に遠隔地にレプリケーションする事ができるようになります。
- **Hyper-V仮想環境の災害対策機能強化** : Hyper-V仮想マシンを丸ごとレプリケーションするHyper-Vシナリオの機能が強化され、スイッチオーバー後にIPアドレス等のネットワーク設定を自動で変更する事ができるようになります。これにより、ネットワークセグメントが異なる災害対策拠点への仮想マシンの切り替えがより簡単に行えるようになります。
- **メール通知機能の強化** : イベント通知機能の一つであるメール通知がSMTP認証に対応します。これにより、社外のメールサーバをご利用のお客様も簡単にレプリケーションの状況を電子メールで把握する事ができます。
- **マルチ インスタンスOracle DBのサポート** : 単一のWindows サーバにインストールされている複数の Oracle データベース インスタンスを保護できるようになります。Arcserve RHA エンジンが、Oracle データベースの各インスタンスを自動的に検出しますので設定が簡単で手間がかかりません。
- **Microsoft SQL Server の Filestream をサポート** : SQL ServerがFilestreamとして管理するBLOB データを自動的に検出して複製する事ができるようになります。
- **マルチ テナント対応** : レプリカのフォルダに対するアクセス権と認証機構が組み込まれ、異なるユーザ部門・企業間で単一のレプリカ サーバを共用できるようになります。セキュリティが確保されるため、ユーザ部門・企業がシナリオの管理を担う事もできます。